

研究実施のお知らせ

2026年1月13日 ver.1.0

研究課題名

気管切開術の術後合併症に関するリスク因子の探索：単施設後方視的観察研究

研究の対象となる方

2012年4月から2025年12月の間に島根大学医学部附属病院で気管切開術を受けた方

研究の目的・意義

本研究は、島根大学医学部附属病院歯科口腔外科で気管切開の手術を受けた患者さんを対象に行うものです。これまでの診療記録をもとに、手術のあとに起こる可能性のある合併症と、それに関係する要因について調べることを目的としています。本研究は、気管切開術による術後合併症リスクの低減に貢献できることに意義があります。

研究の方法

気管切開術（きかんせっかいじゅつ）とは、首の前の部分に小さな穴を開けて、空気の通り道（気道）を直接確保する手術です。この手術は、口腔外科の診療において日常的に行われている基本的な治療のひとつです。気管切開術は、お口やあごに強い炎症や感染があり、息の通り道が狭くなっているときや、お口や顎の大きな手術を行う際に、安全に呼吸を保つ必要があるときに必要な処置です。この手術は、古くから行われており、方法も確立された安全性の高い手術とされています。一方で、よく行われる手術であるため、手術後にどのような合併症（トラブル）が起こりやすいのか、その原因について詳しく調べた研究はあまり多くありません。特に、口やあごの病気の治療では、治療する場所と気管切開を行う首の部分が近いため、他の病気の治療とは異なる注意点やリスクがある可能性が考えられます。そこで本研究では、口やあごの病気の治療のために気管切開術を受けた患者さんを対象に、これまでの診療記録をもとに、手術後に起こりやすい合併症と、その原因となりうる要因を調べることを目的としました。調査は、診断から手術、術後の管理までを一貫して担当した同じ手術チームによる症例を対象とし、2012年4月から2025年12月までの約14年間に行われた治療をもとに検討しています。

<利用する情報>

- ・ 年齢

- ・ 性別
- ・ 体格（BMI）
- ・ お酒の習慣
- ・ たばこの習慣
- ・ お口・あご・顔のどのような病気で治療を受けたか
- ・ 持病の有無
- ・ 過去の大きな病気や治療歴
- ・ 今回の病気の経過
- ・ 使用しているお薬
- ・ 残っている歯の本数
- ・ 入れ歯の使用状況
- ・ 入院していた日数
- ・ 気管切開後の体の変化やトラブル
- ・ 手術後の合併症の程度
- ・ 血液検査の結果
- ・ 画像検査の結果
- ・ 手術中の所見

<利用する試料（検体）・情報の取得の方法>

この研究では、島根大学医学部附属病院歯科口腔外科で行われた手術の記録をさかのぼって確認します。その中から、研究の条件に合う患者さんのみを選び、診療録（カルテ）に記載されている必要な情報を調べます。

<研究対象者の個人情報の取り扱い>

集めたデータは、島根大学医学部歯科口腔外科学講座の研究室にある、鍵のかかる保管庫で厳重に保管します。お名前などの個人が特定される情報と、研究用のデータを結びつける研究対象者リストは、研究責任者のみが管理します。

研究の最終公表を行ってから 10 年間後に、研究対象者リストはシュレッダーで裁断して廃棄し、その他の資料や記録媒体についても、適切な方法で確実に処分します。なお、この研究で得られた情報が、患者さん個人を特定できる形で外部に公表されることはありません。

研究の期間

2026 年 3 月 9 日～2028 年 12 月

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。

研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者：

島根大学医学部歯科口腔外科学講座 管野貴浩

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2026年10月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：管野貴浩

島根大学医学部歯科口腔外科学講座／附属病院歯科口腔外科 松田悠平

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2301 FAX 0853-20-2299